

は何等の意見をも述べず、他の公開の席上で自己の組合の宣傳のために他の組合の者の發言を中傷的にデマを飛ばしてゐるのを聞いた者が非常に激昂してかかる不信な言行は懇談會の破壊であり、しかも殆ど看板だけを掲げてゐる輩の出席に依つて破壊されるが如き會合には出席せるとまで激昂させてゐることである。日本労働組合九州地方協議會加盟團體にかかると至氣が強くと動いてゐることを取り敢ず協調會福岡出張所へ知らせておいた。

越へて九月十五日組合會議九州地方協議會第六回委員會に於ても次の如き報告があつたのである。

○九月十五日總合會議九州地方協議會第六回委員會議事報告
抜年

地方協議會報告第三號第四回勞資懇談會の件

福岡の懇談會も回を重ねる毎に大規模になり、この成功は勞資懇談會の全国的普及となり遂に内務省社會局でも國策として懇談會を指導し、規制する豫算を計上して發表するまでになつたか、遺憾にも、勞資懇談會の内容を實質にせず宣傳的に曝露しないと言ふ紳士協約を裏切り、この紳士協約の許に立つて今日の懇談會の盛大をなすに至つた因を破壊するが如き行動が北九州の一部で看板のみをかかげて殆ど實力なき人々に依つて行はれ、自己宣傳的に利用するために他の労働組合を中傷、誹侮してゐるのは勞資懇談會を破壊するのみで、かかる實力もなき人々の出席のために破壊に至るが如き懇談會には参加せずとまで激昂して居るので、主催者側の協調會福岡出張所長まで其の旨を傳へておいた。